

カルバート

環境

擁壁

道路用オリジナル

貯留システム

法面

下水道

水路用・農業用

道路用一般

工法紹介

12 テールアルメ工法

補強土壁工法



テールアルメ工法は1963年にフランスで開発され、鋼材により土を補強し、垂直盛土を構築する工法です。高い垂直盛土が構築可能なため、土地を最も効果的に利用することができます。導入以来800万㎡を超える実績があり、一般工法として定着すると共に、様々な改良改善が図られたバリエーションが登場し、用途に応じて選択いただけます。

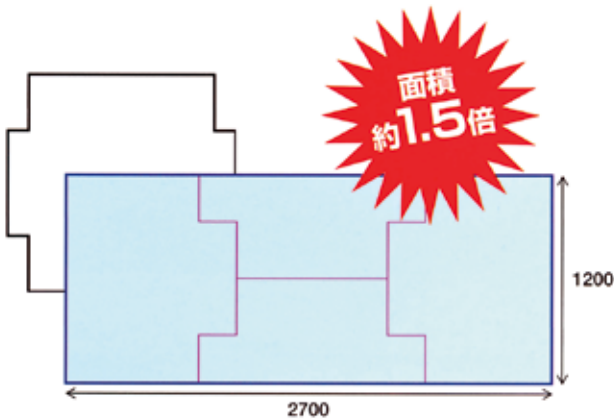
スーパーテールアルメ

NETIS登録製品 QS-060012-V

スーパーテールアルメは建設工事のトータルコスト低減と景観性の向上を実現するために開発された、次世代型テールアルメ工法です。

特長

- 1. 大型長方形パネル**
 - 壁面設置手間が大幅に短縮（従来比30%削減）
 - 模様やレリーフ等のデザインが自在
- 2. 補強材の最適配置と最適断面**
 - 補強材取付総延長が大幅に削減（従来比25%削減）
- 3. 施工盛土層厚の変更**
 - まき出し、転圧等の土工手間が減少（従来比20%削減）
- 4. 天端勾配用プレキャストパネルとキャップ**
 - 現場打ちコンクリートの作業量削減
 - 天端での足場作業不要で安全性向上

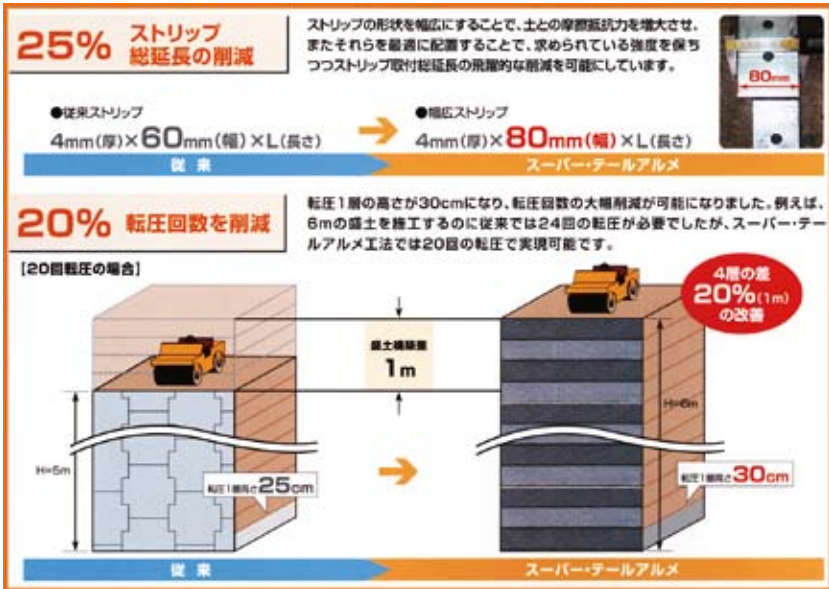


施工手順



基礎整地 パネル設置 ストリップ取付 土のまき出し・転圧 天端処理 完了

従来品との相違点



テールアルメ

テールアルメには大別して次の3タイプがあります。



特長

1. 垂直盛土のため用地幅が最小限となり、土地の有効利用が可能です。
2. 規格化されたプレハブ工法のため工期短縮が可能です。
3. フレキシブルな構造のため基礎地盤への荷重は等分布となり、広範囲な地盤条件で適用可能です。
4. 施工は部材の組立て作業と盛土作業の繰り返しなので、熟練工や特殊な技術を必要としません。
5. 使用する部材は徹底された品質管理の基で製造されており、現場では安心してご使用いただけます。

施工手順



基礎整地



スキン設置



ストリップ取付



土のまき出し



転圧



完了

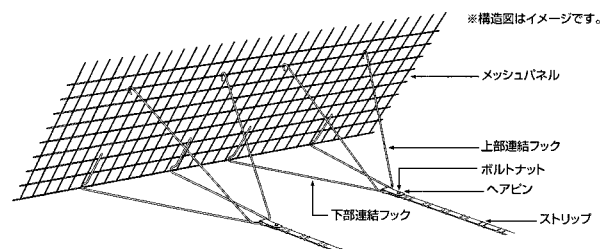
緑化テールアルメ(テラトレールF2工法)

NETIS登録製品 TH-990034-A

緑化テールアルメ(テラトレールF2工法)はテールアルメ工法の技術を適用した、安定に優れた高斜壁盛土を構築できる工法です。

特長

1. 豊富な実績を持つテールアルメ工法の理論を適用しているので信頼性の高い工法です。
2. 壁面傾斜勾配は2分～6分の範囲で設定でき、多様な立地条件に対応可能です。
3. 部材数は少なく、メッシュパネルも軽量であるため、経済性と施工性に優れます。
4. メッシュパネル自体が軽量で自立するため、施工が簡単です。
5. 壁面材がメッシュパネルを使用しているため、追随性に富み、比較的軟弱地盤にも対応可能です。



施工手順



基礎敷砂工



パネル組立て



ストリップ取付



まき出し・転圧



完了